

令和2年度 構造設計1級建築士 総合 対策講座【日曜コース】日程表(5月開講)

- 早期受講
- ・先行講座(本講座の基礎となる「構造力学」(3時間))を令和元年7月上旬より先行受講可能(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	令和元年7月上旬	1時間	構造力学	トラス、振動・剛性マトリックス、座屈	代表的な構造力学の問題解法を確認する
2		1時間		たわみ、降伏と終局	
3		1時間		曲げによる降伏と終局、水平力の分担	

・構造設計1級建築士 必修項目習得講座(12.5時間)(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	令和元年、10月下旬	1.5時間	構造力学	静定構造物、断面の性質と応力度、部材の変形、不静定構造物1	建築構造の基本事項を確認する
2		2.0時間		不静定構造物2、座屈、振動、骨組の塑性解析	
3		2.0時間	各種構造・材料	構造設計の基礎、構造計画等	
4		1.75時間		鉄骨造	
5		1.75時間		鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造	
6		1.75時間		基礎構造	
7		1.75時間		木造、その他の構造等、建築材料	

（本講座前の基礎を固める）  
早期学習期間

●構造設計1級建築士 総合 対策講座 (令和2年)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等		
1	5/10(日)	9:00~14:30	5.5時間	構造設計1	ガイダンス 構造力学 構造計画・構造設計	・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について手計算での手順をマスターする ・講義の流れ 当週完結確認テスト ポイント集と黄色本を活用した講義&例題演習 ↓ 演習テスト ↓ 演習テスト解説 ↓ フォローアップ学習 演習確認問題 ↓ 復習テスト	
2	5/17(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計2	災害 荷重 構造計算等		
3	5/24(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計3	建築材料 木造		
4	5/31(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計4	鉄骨造 鉄筋コンクリート造		
5	6/7(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計5	鉄筋コンクリート造 免震構造 制振構造		
6	6/14(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計6	振動の計算・剛性マトリクス 基礎構造 耐震診断・耐震補強		
6	6/14(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計6	構造設計での黄色本活用・まとめ実践演習		・黄色本活用ポイント を網羅して確認。 演習で解答力アップ
7	6/21(日)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認1	ガイダンス 保有水平耐力計算 鉄骨造		・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について手計算での手順をマスターする 当週完結確認テスト 講義の流れ
8	6/28(日)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認2	鉄筋コンクリート造 免震構造・制振構造 基礎構造		ポイント集と黄色本を活用した講義&例題演習 ↓ 演習テスト ↓ 演習テスト解説 ↓ フォローアップ学習 演習確認問題 ↓ 復習テスト
9	7/5(日)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認3	木造 混構造 構造計画・モデル化 限界耐力計算 非構造部材 経験記述		
10	7/12(日)	9:00~18:00	4時間(演習3h+解説1h) 4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(1)	令和2年度模擬修了考査(1)(法適合確認)演習・解説 令和2年度模擬修了考査(1)(構造設計)演習・解説	・本考査の予想問題での 実践形式演習と添削で 中間期での到達度確認と学習対策を行う	
11	7/26(日)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計7	平成28年度修了考査(構造設計)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了考査問題を利用して行い、実戦力を高める ・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る ・講義の流れ 修了考査演習 ↓ 解説 ↓ フォローアップ学習 添削あり	
12	8/2(日)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計8	平成29年度修了考査(構造設計)演習・解説		
13	8/9(日)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計9	平成30年度修了考査(構造設計)演習・解説		
14	8/16(日)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計10	令和元年度修了考査(構造設計)演習・解説		
15	8/23(日)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認4	平成28年度修了考査(法適合確認)演習・解説		
16	8/30(日)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認5	平成29年度修了考査(法適合確認)演習・解説		
17	9/6(日)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認6	平成30年度修了考査(法適合確認)演習・解説		
18	9/13(日)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認7	令和元年度修了考査(法適合確認)演習・解説		
19	9/27(日)	9:00~18:00	4時間(演習3h+解説1h) 4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(2)	令和2年度模擬修了考査(2)(法適合確認)演習・解説 令和2年度模擬修了考査(2)(構造設計)演習・解説	・本考査の予想問題での 実践形式演習と添削で、 到達度確認と最終修正を図る	

前半期間(インプット)

後半期間(アウトプット)

添削指導

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。  
9月上旬~下旬(公財)建築技術教育普及センター講習受講(2日間)  
10月中旬~下旬 構造設計1級建築士講習 修了考査

総合資格学院

前半期間 (インプット)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める</li> <li>・計算問題について手計算での手順をマスターする</li> </ul>
ポイント集と黄色本を活用した講義で重要なポイントを理解し、例題演習でそのポイントを実践でどのように用いるかを習得。	演習テストで解けるレベルになっているかを確認。
フォローアップ学習で見直しを行った後、演習確認問題で完全に解けるレベルまで到達。	【翌週】 当週完結確認テストで復習の成果により、その項目が完全に身についているかどうかを確認。
後半期間 (アウトプット)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了考査問題を利用して行い、実戦力を高める</li> <li>・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る</li> </ul>
修了考査演習で本番形式でのアウトプット	解説講義で解答のポイントを確認。
フォローアップ学習で見直しを行う。その中で	
模擬修了考査 (2回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本番と同じ形式、同じ時間で問題演習を実施し、本番の疑似体験を行う</li> </ul>

すく、結果に  
き記述の  
め述す  
細のか  
かしか  
しる添  
いた削  
確認や  
指導  
算だけ  
手順で  
う。対

**令和2年度 構造設計1級建築士 総合 対策講座【水曜コース】日程表(5月開講)**

●早期受講  
 ・先行講座(本講座の基礎となる「構造力学」(3時間))を令和元年7月上旬より先行受講可能(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	令和元年7月上旬	1時間	構造力学	トラス、振動・剛性マトリックス、座屈	代表的な構造力学の問題解法を確認する
2		1時間		たわみ、降伏と終局	
3		1時間		曲げによる降伏と終局、水平力の分担	

・構造設計1級建築士 必修項目習得講座(12.5時間)(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	令和元年10月下旬	1.5時間	構造力学	静定構造物、断面の性質と応力度、部材の変形、不静定構造物1	建築構造の基本事項を確認する
2		2.0時間		不静定構造物2、座屈、振動、骨組の塑性解析	
3		2.0時間	各種構造・材料	構造設計の基礎、構造計画等	
4		1.75時間		鉄骨造	
5		1.75時間		鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造	
6		1.75時間		基礎構造	
7		1.75時間		木造、その他の構造等、建築材料	

(本講座前の基礎を固める)  
**早期学習期間**

●構造設計1級建築士 総合 対策講座 (令和2年)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等		
1	5/13(水)	9:00~14:30	5.5時間	構造設計1	ガイダンス 構造力学 構造計画・構造設計	・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について手計算での手順をマスターする ・講義の流れ 当週完結確認テスト ポイント集と黄色本を活用した講義&例題演習 ↓ 演習テスト ↓ 演習テスト解説 ↓ フォローアップ学習 ↓ 復習テスト	
2	5/20(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計2	災害 荷重 構造計算等		
3	5/27(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計3	建築材料 木造		
4	6/3(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計4	鉄骨造 鉄筋コンクリート造		
5	6/10(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計5	鉄筋コンクリート造 免震構造 制振構造		
6	6/17(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計6	振動の計算・剛性マトリクス 基礎構造 耐震診断・耐震補強		
6	6/17(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計6	構造設計での黄色本活用・まとめ実践演習		・黄色本活用ポイント を網羅して確認。 演習で解答力アップ ↓ 当週完結・演習 演習確認・復習
7	6/24(水)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認1	ガイダンス 保有水平耐力計算 鉄骨造		・各項目について出題ポイントを理解し、 解答力を高める ・計算問題について手計算での手順を マスターする ↓ 当週完結確認テスト ↓ 講義の流れ
8	7/1(水)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認2	鉄筋コンクリート造 免震構造・制振構造 基礎構造		ポイント集と黄色本を活用した 講義&例題演習 ↓ 演習テスト ↓ 演習テスト解説 ↓ フォローアップ ↓ 学習 ↓ 復習テスト
9	7/8(水)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認3	木造 混構造 構造計画・モデル化 限界耐力計算 非構造部材 経験記述		

前半期間(インプット)

10 7/15(水) 9:00~18:00 4時間(演習3h+解説1h) 4時間(演習3h+解説1h) 模擬修了考査(1) 令和2年度模擬修了考査(1)(法適合確認)演習・解説 令和2年度模擬修了考査(1)(構造設計)演習・解説

考修模  
 査了擬

11	7/29(水)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計7	平成28年度修了考査(構造設計)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニング を過去修了考査問題を利用して行い、 実戦力を高める ・添削を受け、到達度確認と 記述答案、計算手順の修正を図る ・講義の流れ ↓ 修了考査演習 ↓ 解説 ↓ フォローアップ学習 ↓ 学習 ↓ 復習テスト
12	8/5(水)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計8	平成29年度修了考査(構造設計)演習・解説	
13	8/12(水)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計9	平成30年度修了考査(構造設計)演習・解説	
14	8/19(水)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計10	令和元年度修了考査(構造設計)演習・解説	
15	8/26(水)	9:00~13:30	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認4	平成28年度修了考査(法適合確認)演習・解説	
16	9/2(水)	9:00~13:30	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認5	平成29年度修了考査(法適合確認)演習・解説	
17	9/9(水)	9:00~13:30	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認6	平成30年度修了考査(法適合確認)演習・解説	
18	9/16(水)	9:00~13:30	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認7	令和元年度修了考査(法適合確認)演習・解説	
19	9/30(水)	9:00~18:00	4時間(演習3h+解説1h) 4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(2)	令和2年度模擬修了考査(2)(法適合確認)演習・解説 令和2年度模擬修了考査(2)(構造設計)演習・解説	

後半期間(アウトプット)

添削  
 指導

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。  
 9月上旬~下旬(公財)建築技術教育普及センター講習受講(2日間)  
 10月中旬~下旬 構造設計1級建築士講習 修了考査

総合資格学院

<b>前半期間 (インプット)</b> ・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について手計算での手順をマスターする ↓ ポイント集と黄色本を活用した講義で重要なポイントを理解し、例題演習でそのポイントを実践でどのように用いるかを習得。	→	演習テストで解けるレベルになっているかを確認。	→	フォローアップ学習で見直しを行った後、演習確認問題で完全に解けるレベルまで到達。	→	【翌週】 当週完結確認テストで復習の成果により、その項目が完全に身につけているかどうかを確認。
<b>後半期間 (アウトプット)</b> ・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了考査問題を利用して行い、実戦力を高める ・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る	→	修了考査演習で本番形式でのアウトプット	→	解説講義で解答のポイントを確認。	→	フォローアップ学習で見直しを行う。その中で
<b>模擬修了考査 (2回)</b> ・本番と同じ形式、同じ時間で問題演習を実施し、本番の疑似体験を行う						

すぐ結果に  
 対する  
 細かい  
 添削  
 指導  
 だけ  
 じゃ  
 ない  
 対